



おはなしポケットのいちねんかん

館内おはなし会

図書館1かいえほんコーナーで毎週水曜日と土曜日におはなし会をやってます

おでかけおはなし会
&
派遣おはなし会

子育てサークルや各学校へおはなし会をとどけてます。

季節の大さいおはなし会

春・夏・冬と大型紙芝居ペーパーサー、エプロンシアター、パネルシアター、人形劇などの大さいおはなし会を開催します。

研修＆例会

月に1度おはなしポケットのメンバーが集まってよみきかせや絵本の勉強会と打ち合わせ会やります。

講座開催

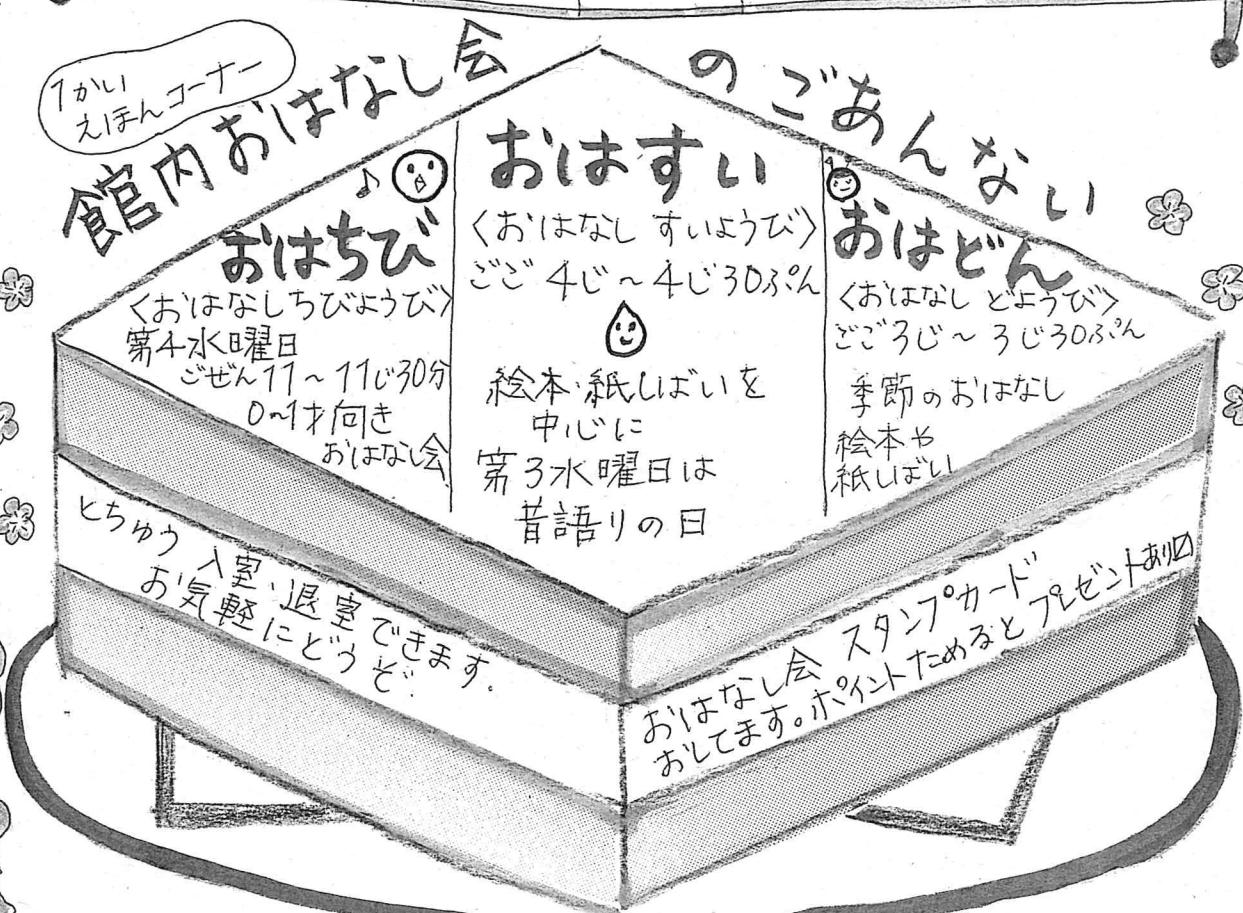
年に1度講師を招いてよみきかせや絵本の講座企画、開催

おはなしポケットメンバー募集!

絵本の好きなひと、絵本をもっと知りたいひと、よみきかせに興味のあるひと、こどもたちに卞のいいおはなしを届けてみませんか？おはなしポケットメンバーは老若男女さままで。小さいおこさんを連れていらしても大丈夫。お気軽にお問い合わせ下さい。市立図書館TEL 0235.24.2525 営業担当吉住まで

3月

日	月	火	水	木	金	土
休館日。毎週月曜日(祝祭日が重なった場合は翌日) 年度未更新日 3/31				1	2	3
15:00 おはどん						
4	5	6	7	8	9	10
16:00 おはすい						10:00 よみきかせボランティア 巻成講座 15:00～おはどん
11	12	13	14	15	16	17
10:00～ おはなしひの講座 実践編	休館日		16:00～ おはすい			15:00～ おはどん
18	19	20	21	22	23	24
休館日			16:00～ おはすい 昔語りの日			15:00～ おはどん
25	26	27	28	29	30	31
休館日			11:00～おはなし 16:00～おはすい			休館日 年度未更新日



こども室の 本棚から

夜明けが早くなり、夕暮れが遅くなつて、一日の昼の時間が長くなり、少しづつ春が近づいてくるを感じます。お天気のいい日には、地面が暖かくなってきたのかな～。と思います。でも、3月になったばかり、今年はまだ雪がいっぱいです。

今月の絵本は「春を待つ絵本」にします。一冊目は、『はるまちくまさん』(ケビン・ヘンクス作 いしいむつみ訳 2009年刊 BL出版) あらつ、私のことかしら？

冬です。そとは雪が降っています。ほらあなたで、くまが眠っています。大きなからだを丸めて眠っているくまは、夢を見ます。こぐまになつたくまが見た夢は、春の夢、夏の夢、秋の夢、そして冬の夢。どれもステキな夢。ようやく目が覚めたらまは、大きなあくびをして、うーんとのびをして、「そとはまだゆきかな」とほらあなたから頭を出してみました。くまは、めをぱちくり。そとは、もう春です。もう夢じゃないだね。

私、もう何度も春を経験しておりますが、ますま

「おひさま ぽかぽか」

笠野裕一 作

福音館書店

2000年



「はるまちくまさん」
ケビン・ヘンクス 作
いしいむつみ 訳
BL 出版 2009 年



す春が待ち遠しい今日この頃です。

待ち遠しい春を思つて、もう一冊紹介します。
『おひさま ぽかぽか』(笠野裕一作 2000 年刊 福音館書店)です。

おひさま ぽかぽか あたたかい ひ。おばあちゃんが えんがわに ふとんを ほしました。その布団の上にねこがごろん。ふかふかの布団の上に寝転がりました。気持ちよさそうです。それを見て、おばあちゃんも「ふわー」とおおきなあくび。おやおや、おばあちゃんも寝ちゃうの？ 気持ちよさそう。その後に…。次々に、みんなやつてきては、布団の上に寝てしまします。それが、2人と6匹と4羽、うまい具合に布団の上に寝てしまうのです。なんとも のどかな屋下がりでございます。

最後に絵本を開いて、表紙と裏表紙を見せてあげてくださいね。みんな、いますので。

春を待つ絵本は、もっともっとたくさんあります。絵本を読みながら、春待つ気持ちを存分に味わってください。

「はるがきた」
ジーン・ジオン 文
マーガレット・ブロイ・ケラム 絵
こみやゆう 訳
主婦の友社 2011 年



☆おはなしポケットメンバーおすすめ本☆ フィリポのまほうのふで 藤田圭雄 訳 佑学社 1978年

よくありますよね、ハサミを持つとやたらとものを切りたくなったり、絵ふでを手にするところがまわざ描きたくなったりすることが…。この作品は、そのような子どもの好奇心をうまく表現している作品の一つといえます。

フィリポはポニーのたてがみでつくったふででいろんなものを描きます。夢の中ではからすをごくらくちように変えてみたりと、空想したものをどんどん描いていきます。また、実際にもすずめを黄色くぬって、近所のおばさんの鳥かごにそっと入れておいたりといったいたずらにも余念がありません。おかげでまわりはひと騒動に…。

このような空想やいたずら、大人だったら思わず顔をしかめてしまうところですが、子どもは、絵本の中ですっかりフィリポになりきっていっしょに絵ふでをはしらせていることでしょう。

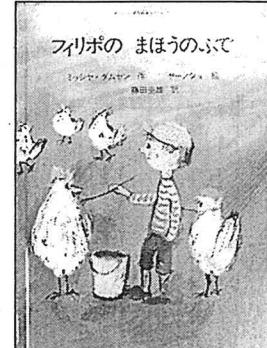
絵の具タッチの絵が、さらに読み手を絵本の世界に引き込んでしまいます。

『まのいいりょうし』 日本の昔話 (瀬田貞二 再話) 赤羽未吉 絵 福音館書店 1975年

この作品は、早いおはなしの展開がリズムよく、また擬音語を効果的に用いて書かれていて、読み聞かせでも楽しめるお話です。また、ダイナミックな絵が読み手の想像力を膨らませてくれるのも楽しめるところです。

猟師がむすこの七つ祝いに獲物を求めて猟に出かけます。さいわい、猟師はかも獲に成功します。そしてこのかも猟を皮切りに、次々と獲物を獲得していきますが、その獲物にたどりつく方法がまさに「まがいい」のです。

さて、何がどのように「まがいい」のか、それから最後にはどれほどの七つ祝いを手中にして家に帰っていくのでしょうか。



おはなしポケット たー子

三 てあそび めぐらべうた やってみよう 二

「ひよひよちゃん」 シンプルなミニゲームです！

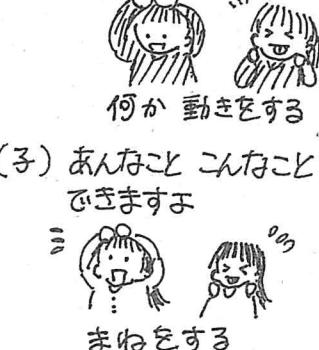
(親) ひよひよちゃん

(子) なんですか？



(親) あんなこと こんなこと

できますか？



*みんなで輪になって、難易度を上げれば、園児・小学生のレクレーションもぴったりです！

